

テーマ1 「県民の期待に応える警察機能発揮のための施設整備」について

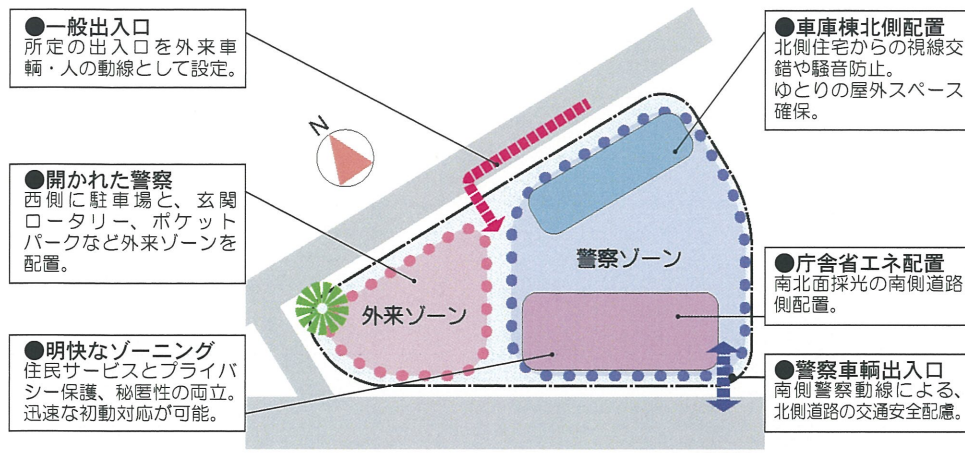
警察力を最大限発揮する土地利用計画

■ 外来と警察利用ゾーンの明快な区分

・特殊形状の敷地の西側ゾーンを外来ゾーン、東側を庁舎及び車庫など警察ゾーンとして明確に区分し、警察署として必要な機能を発揮する土地利用を計画します。

■ 2か所の出入口設置

・一般車両出入口は北側（区画道路5号線）、警察車両出入口は南側（常盤橋若草線）に分離し、敷地特性に対応した迅速な動向や安全な交通計画に対応する提案を行います。



〈配置ゾーニングイメージ〉

機能性とフレキシブル性を備えた庁舎、車庫計画

■ 両端コア形式のフレキシブルな庁舎棟

・庁舎平面構成は、間口6.2m~6.4mの経済スパンで構成し、東西にE/Vや階段、設備シャフトを集約した両端コアの平面形状を基本として計画します。



〈基準階平面イメージ〉

■ 南北面採光と自然換気の促進

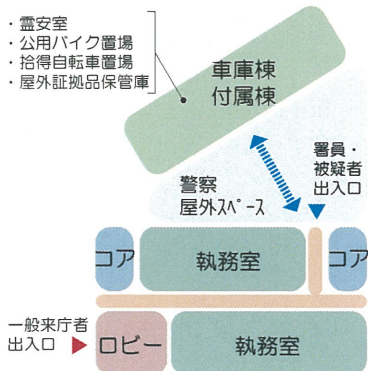
・両端コアにより南北面を開開口とし、採光・換気を得ることで居住性の高い執務室を計画します。



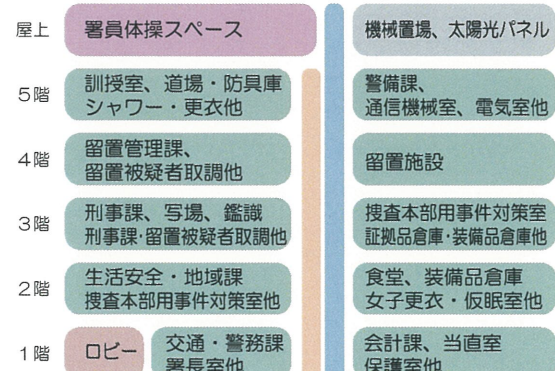
〈自然エネルギーの利用〉

■ 機能的・合理的な各階ゾーニング

- 1階にロビーと、交通、警務、会計など主な外来部門を配置します。
2階には生活安全、地域、捜査本部、食堂・女子更衣・仮眠室などをゾーニングします。
3階または4階には、刑事、鑑識関係諸室、留置関係諸室をゾーニングします。
最上階には訓授室・道場を配置し、窓面を南側に設置することで、柔剣道訓練音が近隣に影響しないよう計画します。
その間の3階または4階に留置関連諸室を挟み込む階層構成により、逃走防止を図るプロトタイプを作成し協議します。
庁舎内に可能な限り、吹抜などは設置せず躯体フレームをフルに活用する無駄のないプラン、署内の事故防止や安全確保を重視した計画とします。



〈1階平面イメージ〉



〈階構成イメージ〉

開かれた警察、様々な近隣への配慮策

■ 開かれた警察

- ・県産材の木材を活用した暖かみのある1階ロビーには、日常の防犯や警察活動のPRを行う情報コーナーを提案します。
・西側コアから最上階の道場への動線を確保し、地域の道場利用を円滑に行えるプランとします。

■ 視線交錯回避手法

- ・地上階の警察用車両スペースは、車庫棟と庁舎により取り囲む配置とし、歩行者や周辺住宅からの視線交錯回避を図ります。
・留置階、取調室などプライバシー配慮の窓面は、透過性の低いガラス使用、FIMXガラス+換気ガラリ、太陽光発電セル内蔵ガラスによる遮蔽など複数案を提案します。

■ 覗き込み防止対策

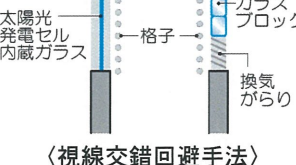
- ・署員用玄関にはアルコーブや庇を設置し、被疑者が人目に触れず搬送車両から庁舎に出入可能なよう計画します。
・留置階の屋外運動場が、東側高層マンションから覗かれぬよう、不透明の屋根とガラスブロックの窓により採光を得る工夫を行います。

■ その他の配慮

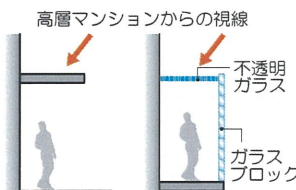
- ・東隣地境界には目隠し+騒音防止フェンスを設置し、駐車場の騒音防止と逃走防止を図ります。
・その他、電波障害や太陽光の窓面反射、夜間の照明漏れ対策など詳細な近隣配慮に留意します。



〈開かれた警察署〉



〈視線交錯回避手法〉

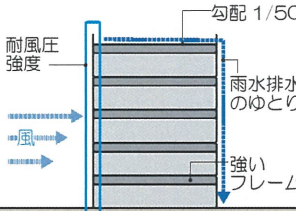


〈覗き込み防止対策〉

24時間県民の安全を守る災害時自立庁舎

■ 様々な自然災害に強い強靱な庁舎

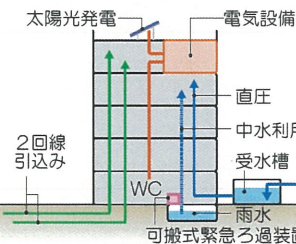
- ・耐震性Ⅱ類を最低基準とした地震に強い設計とし、天井や外部の二次部品についても、十二分な安全性を確保します。
・大型台風や局地型集中豪雨に対し、耐風圧強度や排水計画に余裕を見込んだ設計を行います。



〈自然災害に強い強靱な庁舎〉

■ 災害時の危機管理機能の充実

- ・電源や通信の2ルート引込みを関係機関と協議します。
・キュービクルや自家発電設備など電気設備は最上階に配置し、水害対策を行います。
・自家発電装置は、非常時優先業務を72時間運転可能とし、断水時も稼働する空冷式を採用します。
・災害時の給水確保のため、上水は直圧給水方式と受水槽方式の2系統を提案します。
・補助給水として、井水及び雨水を中水利用可能な、可搬式緊急過装置を提案・検討します。



〈危機管理機能の充実〉

LCCO2削減を目指す環境技術

■ 60項目以上の環境配慮技術

- ・60項目以上のLCCO2削減技術の費用対効果を、数値検証し「二葉の里地区低炭素まちづくりプラン」に対応した環境配慮型庁舎を実現します。

Table with 3 columns: Item, NO, and Adoption Technology. Lists 60+ environmental technologies for LCCO2 reduction.

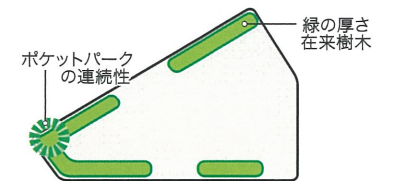
〈LCCO2削減技術〉

テーマ2 「周辺環境との調和」について

歴史の散歩道と調和を図る施設構成

■ 歴史・文化軸に配慮した建物構成

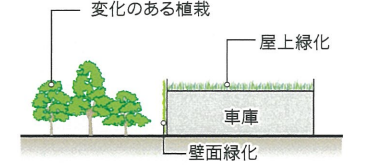
・敷地北側「二葉の里歴史の散歩道」に対し、歩道や厚みのある緑地整備を行い、北西角にはポケットパークの充実を図ります。



〈周辺環境との調和を生み出す緑化計画〉

・庁舎棟は南側幹線道路側に配置し、二葉山、歴史の散歩道側から充分に距離を取った配置計画とします。

・北側、歴史の散歩道側には、低層の車庫を配置し、散歩道に面した壁面を緑化壁とすることで、里山側に環境と調和した柔らかい表情をつくります。



〈車庫棟の緑化〉

・散歩道に面する車庫棟の外壁には、歴史の散歩道案内表示を検討します。

■ 歩行者ネットワークと緑のプロムナード

・敷地南側の常盤橋若草線には、幹線道路にふさわしい歩道緑化整備を行います。

・南側警察車両出入口部の舗装は、歩道の仕上と同一のインターロッキング舗装とし調和を図ります。

・敷地内の緑化は、変化のある景観を生むよう計画し、地域に自生する在来種を主体として提案します。

外観デザイン検討の方向性

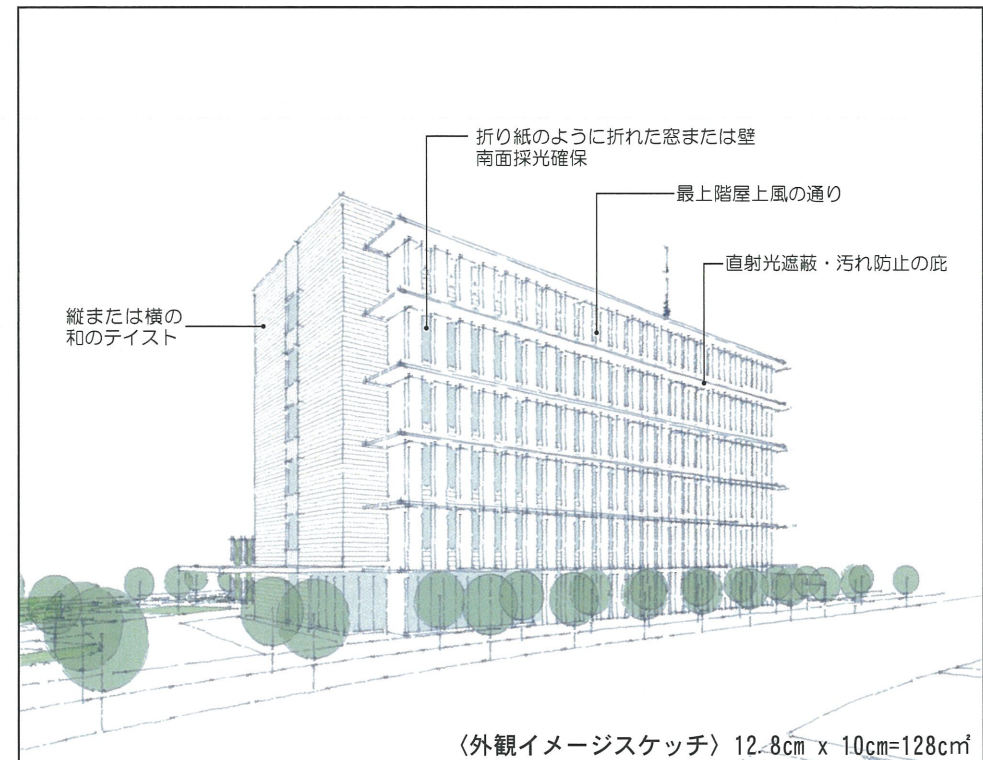
■ 新しい街づくりと調和を図る建築物デザイン留意事項

- ・計画敷地は、新幹線口周辺の高度利用建物ゾーンから徐々に住宅ゾーンや川辺の風景へと切り替わる位置にあり、以下の内容に留意したスマートで落ち着いたデザインを目指します。

- 地域と共にある警察・・・威圧感や圧迫感を与えない、大壁面や柱梁などアウトターフレームが表出しない配慮。
○饒津神社方面から・・・新しい東警察署として常盤橋若草線のランドマークになるデザイン。
○ランドスケープ・・・二葉山~京橋川へ連続する地形に調和する緑地や外構オープンスペース計画。

■ 和のテイストと環境配慮を表現する建築物へのチャレンジ

- ・建物の色相は「広島市景観計画」の使用可能色を採用します。
・垂直ラインや庇など水平ラインの直線をモチーフにした「和のテイスト」を意識した形態表現を提案します。
・常盤橋若草線に面する窓面は、正確には南西向きであるため、壁面と窓面を折り紙のように変化させ南面採光を得るデザインも提案します。



〈外観イメージスケッチ〉 12.8cm x 10cm=128cm²